

うわきつ魔法ダブル大年増、ダーク☆ルクレツィア&セイント☆リ
ティーシア♡

リティーシア「おい貴様♡ また私の胎が、空いてしまっているのだが
……♡」

ルクレツィア「ンギひいゝゝ ～ッ♡ ま、負けっ♡ ダーク☆ルクレツィア
のチン負けですっ♡」

リティーシア「クソッ、抜け駆けか!？」

出産を終えた私が訪れたのは、エルフの繁栄を祈願するヤリ部屋。
ノック無しでのまんこデリバりは許されているので、そのまま扉を開ける。
だが既に、チンハメ千本ノックは開始されており……♡

あなた「遅いぞ」

ルクレツィア「ごめんなアゝ ヅちいゝ ～ッ♡ あゝ ヅあゝ ヅ孕むッ♡ 詫び妊
娠キメますッ♡」

リティーシア「ズルいぞルクッ♡ すぐに私もお掃除妊娠っ♡ ……む？」

遅刻した私の代わりにコキ捨てられ、責任を取らせて頂くルクの子宮。
噴いたミルクの勢いからして、五ガキはカタいか……？ なんと羨ましい♡
だが差し出すハメ穴に余りは塗り込まれず、代わりに手渡される布っきれ。

ルクレツィア「リティそれぷちゅんっ♡ 着おゝ ～ッ♡ お代わり受精くるッ
♡」

リティーシア「妊娠するか喋るかどちらかにしろ！」

ルクレツィア「おゝ アゝ ヅ♡ ふンギッ♡!!」

リティーシア「まったく……♡」

相方の説明は、受精報告が挟まりまくるため要領を得ない。
さらにはバイブで栓をされ、布越しの歯とまんこを食いしばってしまった♡
だがそれがヒントになった。明晰なる我が子宮に促され、お着換え開始。

ルクレツィア「に、似合っててムカつきます♡」

リティーシア「どうだ貴様♡ お褒めチンピクとレイプしろ♡」

あなた「お預けだ。それより挨拶」

白が着る、黒の助平衣装。またその逆も勃起誘発効果が大層高い。
手抜き過ぎるコスプレだが、妊娠に手を抜いたことなど一度もない。

リティーシア「うわキツ魔法大年増♡ プリティ☆リティも惨状だぞお兄ちゃん♡」

ルクレツィア「違いますババア♡ 今日はセイントあゝ ッ孕むっ♡」

リティーシア「聖なる懷妊！？ なんだそれうゝ ッほおゝ ～♡！？」

あなた「オイ」

リティーシア「き、貴様♡ ごめンおゝ ほ♡ うゝ フヒョオゝ ♡♡」

だが口上を述べつつ排卵した私に対し、宣言されるは謎の妊娠手法。
不正解すると勢い良くツッコまれ、じっくり抜き差しされるアナルビーズ♡

ルクレツィア「そのまま『ちんぽに負けない♡』と叫びつつお散歩です♡ なにせセイントですので♡」

リティーシア「オリジナルは負けっぱなしなのにつ！？」

あなた「二次創作だ。文句あるか？」

リティーシア「はひ貴様ッ♡ ありませんがンおゝッ♡ タマゴはたっぷりれしゅッ♡」

とんでもないプレイにも、反論出来ずに始めてしまうガニ股歩き。
同族どもに妊娠できぬケツ穴遊びを見せびらかすために。
人間ちんぽに敗北しないなど、便所エルフの摂理に反している。だが。

あなた「楽しみにしとけ」

リティーシア「おゝッ♡！！ ほおゝ～ッ♡♡♡！！」

後ろから投げ掛けられる、甘すぎる誘惑♡ ルクより多数の
大勝利ぶっちょん♡
ハッピー尊厳エンド♡
つい脚も排卵も加速させ、自らアナルビーズを引き抜いてしまいケツアクメ
大噴乳する私だった……♡